● お問合せは、お買い上げの販売店または下記事業所へお申しつけください。

札 幌 支 店	tel.011-841-3731	fax.011-841-9926	〒003-0012	札幌市白石区中央2条3丁目3-10
盛岡営業所	tel.019-645-5271	fax.019-645-5275	〒020-0134	盛岡市南青山町4-8
仙 台 支 店	tel.022-288-8415	fax.022-287-3110	〒984-0012	仙台市若林区六丁の目中町31-35
新潟営業所	tel.025-267-1241	fax.025-231-0506	〒951-8154	新潟市掘割町3-4 川崎ビル1F
宇都宮営業所	tel.028-610-7891	fax.028-610-7892	〒320-0847	宇都宮市滝谷町20-20 SSビル1F
つくば営業所	tel.0297-52-1551	fax.0297-52-1552	〒300-2494	茨城県つくばみらい市小絹551
さいたま支店	tel.048-657-9221	fax.048-657-9191	〒330-0810	さいたま市大宮区土手町1丁目2 JA共済埼玉ビル2F
東 京 支 店	tel.03-3552-2961	fax.03-3552-4460	〒104-0033	東京都中央区新川1丁目14-5 金盃第三ビル4F
東京西営業所	tel.03-5358-3391	fax.03-5358-3392	〒151-0073	渋谷区笹塚3-2-15 第Ⅱベルプラザ1F
多摩営業所	tel.042-525-0431	fax.042-525-0433	〒190-0013	立川市富士見町1丁目21-18 クラン岩崎1F
千葉営業所	tel.043-245-6801	fax.043-245-6805	〒260-0027	千葉市中央区新田町10-15 誠寿ビル1F
横 浜 支 店	tel.045-473-2700	fax.045-473-9660	〒222-0033	横浜市港北区新横浜2-17-2 フォンターナ新横浜4F
静岡営業所	tel.054-283-5011	fax.054-283-5120	〒422-8043	静岡市中田本町60-7
長野営業所	tel.026-225-5901	fax.026-225-5902	〒380-0928	長野市若里1丁目21-24 八州若里第二ビル1F
名古屋支店	tel.052-858-2420	fax.052-858-2461	〒466-0033	名古屋市昭和区台町1丁目23
金沢営業所	tel.076-240-2300	fax.076-240-3791	〒920-0364	金沢市松島2丁目209
京都営業所	tel.075-344-9611	fax.075-344-7664	〒600-8108	京都市下京区五条通新町西入る西錺屋町18 トミタビル4F
大 阪 支 店	tel.06-6260-0821	fax.06-6260-0822	〒541-0053	大阪市中央区本町4-1-7 第二有楽ビル6F
神戸営業所	tel.078-382-0173	fax.078-382-0190	〒650-0025	神戸市中央区相生町4丁目4-14 グランダーブル2F
岡山営業所	tel.086-244-2222	fax.086-244-1612	〒700-0971	岡山市野田3丁目23-7
広 島 支 店	tel.082-232-0439	fax.082-232-0432	〒733-0037	広島市西区西観音町9-7 なかよしビル1F
高松営業所	tel.087-868-0434	fax.087-868-0491	〒760-0079	高松市松縄町50-13
福 岡 支 店	tel.092-947-2661	fax.092-947-2706	〒811-2414	福岡県粕屋郡篠栗町和田805-2
鹿児島営業所	tel.099-259-2911	fax.099-259-2855	〒890-0052	鹿児島市上之園町25-1 KBC中央ビル1F

トーソー株式会社 ◎お客様相談室 **tel.03-3552-1002**
ホームページアドレス http://www.toso.co.jp
本社 〒104-0033 東京都中央区新川1-4-9

※この取扱説明書は再生紙を使用しています。

TOSO

ローマンシェード

クリエティ コードツインタイプ

取扱説明書 No.Ｓ－110028

取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
安全にご使用いただくために良くお読みいただき、大切に保管してください。

販売店様・施工業者様へのお願い

本書は、お客様が本製品を適切にご使用いただくための説明·注意事項が記載されております。**必ずお客様にお渡しください。**

目　次

安全上のご注意(必ずお守りください)

※ 本書は、お買い上げいただいた製品を安全にご使用していただくために特に注意していただくことを表示してあります。取付け前に必ずお読みいただき、適切な取扱いをお願い致します。

● 本書では、表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる、危険や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

警告　製品の取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示しています。

注意　製品の取扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害損害の程度を示しています。

● 本書では、お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し説明しています。

⃠ 製品の取扱いにおいて、その行為を「禁止」する図記号です。

❗ 製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を「強制」する図記号です。

■ 取付け上のご注意(取付け前に必ずお読みください)

警告

⃠ 付属のブラケット取付けネジは木部用です。木部以外には使用しないでください。

❗ 本製品を取付ける下地の強度や材質を確認し、施工してください。確実に下地に取付けていない場合は落下の原因になります。

❗ 取扱説明書に記載されているブラケット取付け数量と取付け位置は必ずお守りください。本体が落下する恐れがあります。

注意

⃠ 本製品は屋内用です。屋外へは取付けないでください。

⃠ 高温多湿の条件下や水に濡れることが予想される場所へは取付けないでください。

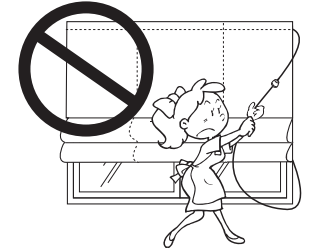
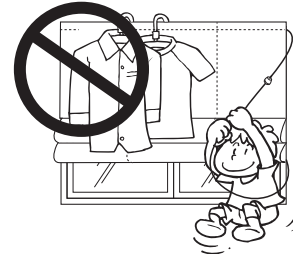
❗ 製品は、水平に取付けてください。

■ 使用上のご注意(ご使用前に必ずお読みください)

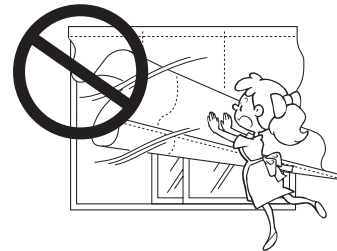
警告

⃠ コードが体に巻きついたり、引っ掛かるようなことをしないでください。事故の恐れがあります。

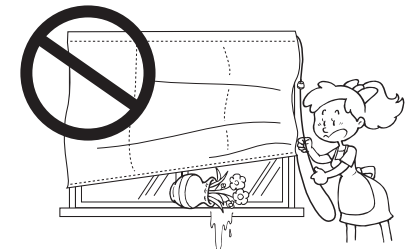
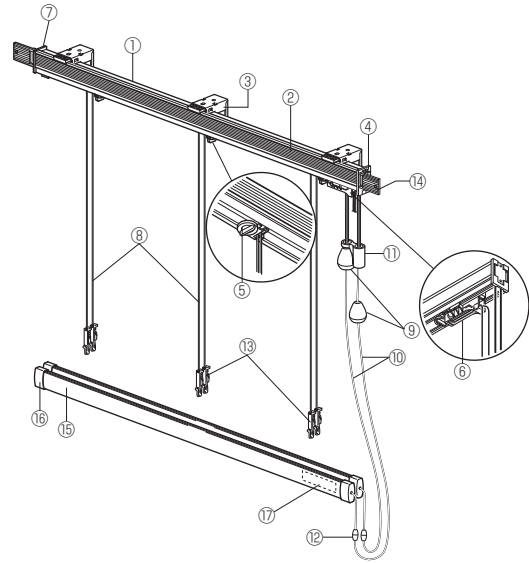
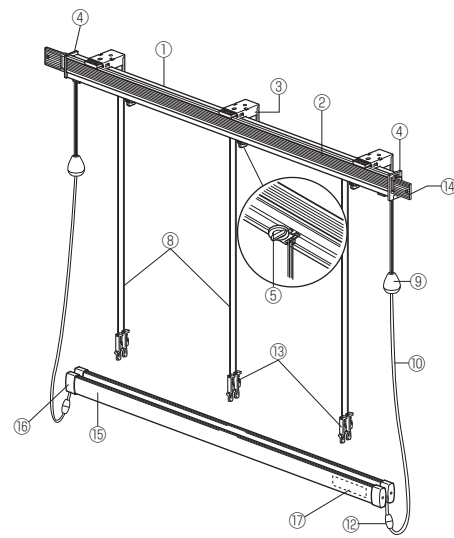
⃠ 製品に物を吊り下げたり、ぶら下がらないでください。製品が破損したり、落下する恐れがあります。

⃠ 急激な操作や無理な操作は、絶対におやめください。製品の落下や、破損などの恐れがあります。

注意

⃠ 強風の時は、必ず窓を閉めるか幕体をたたみ上げた状態にしてください。

⃠ メカ部の分解や可動部への注油は、破損や故障の原因となりますので絶対におやめください。

⃠ 火のそばでのご使用は絶対におやめください。

⃠ 必ず操作コードを持って操作を行ってください。幕体やウエイトバーを持って操作を行わないでください。

⃠ 昇降動作の範囲内に破損の恐れがある物や操作の障害となる物を置かないでください。

製品全体図及び部品名称

〈片側操作の場合〉　　　　〈両側操作の場合〉

部品名

①ヘッドレール	⑩操作コード
②挿入式マジックテープ	⑪コードセパレータ(片側操作の場合のみ)
③ブラケット	⑫安全ジョイント
④ストッパーケース(ストッパー本体)	⑬コードアジャスタ
⑤コードガイド(コードガイドA/B)	⑭リターン(指定時のみ)
⑥ストッパーガイド(幅～290mmの場合)	⑮ウエイトバー
⑦キャップ(片側操作の場合のみ)	⑯ウエイトバーキャップ
⑧昇降コード	⑰メンテナンスシール
⑨コード止め	

■ 付属部品

部品名 / 製品幅(mm)	ブラケット※1 〈正面付け・天井付け共通ブラケット〉　〈天井付けブラケット〉	ブラケット取付けネジ(ナベφ3.5×20)
～1200	2個	2本
～2000	3個	3本
～2400	4個	4本

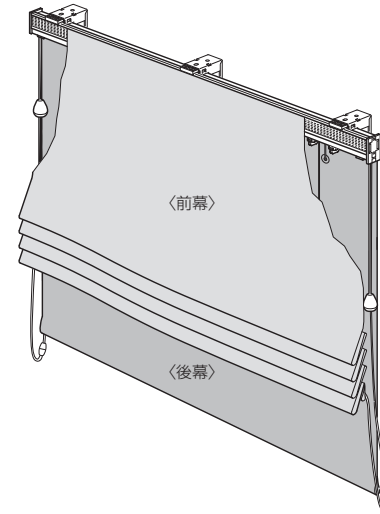
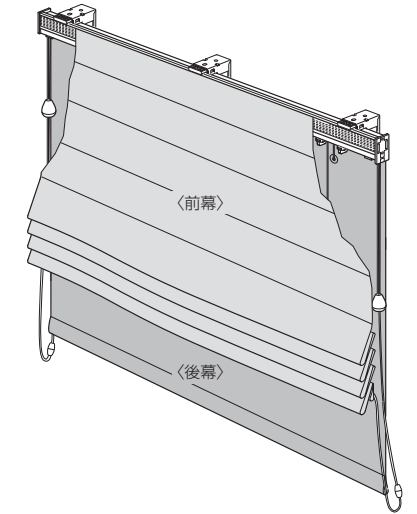
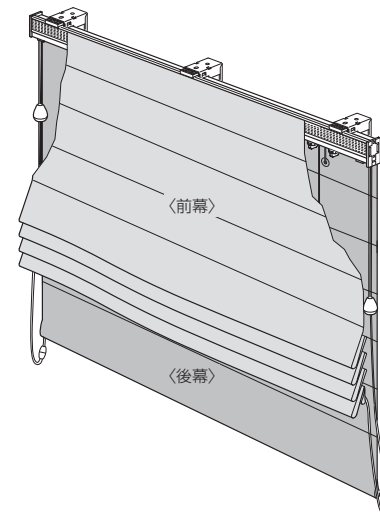
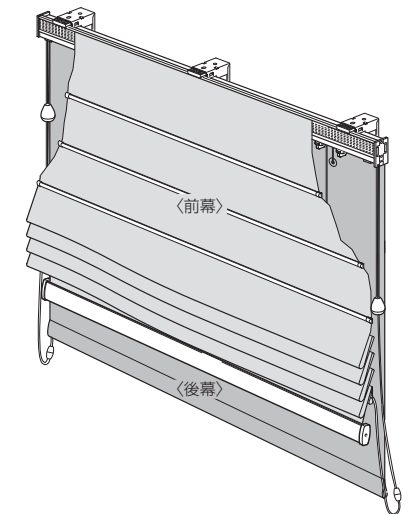
※1 通常は正面付け·天井付け共通ブラケットが入っています。
　　ご注文時に指定があった場合のみ、天井付けブラケットが入っています。

■ 製品重量　2.3kg(プレーンスタイル+プレーンスタイル幅2000mm×高さ2000mmの場合)

※幕体の重量は含みません。

スタイル

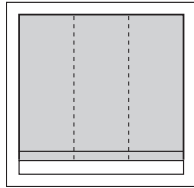
※ イラストは両側操作の場合です。

■ プレーン+プレーンスタイル

■ シャープ+プレーンスタイル

■ シャープ+シャープスタイル

■ フロントバー+プレーンスタイル

製品の取付け／取外し方法

注意

🚫 付属部品の取付けネジは木部用です。木部以外には使用しないでください。

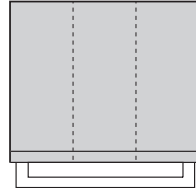
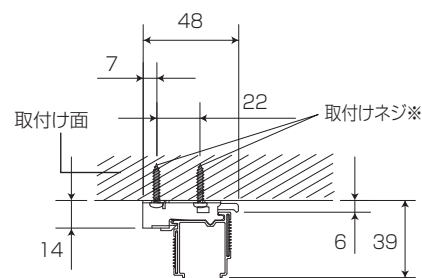
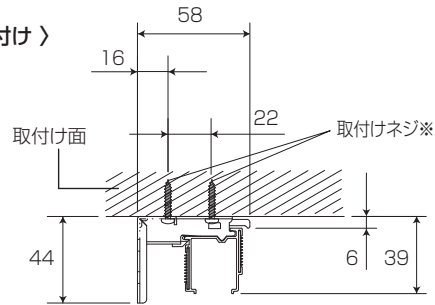
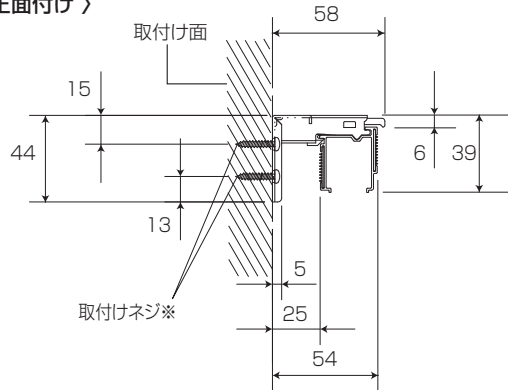
■ 取付けの種類

〈天井付け〉
窓枠の内側に取付ける方法

〈正面付け〉
窓枠の外側に取付ける方法

■ 取付け寸法図（mm）

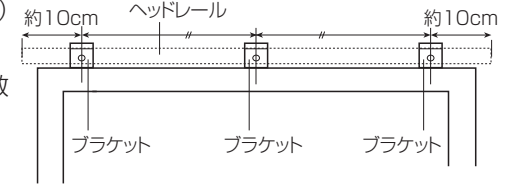
〈 天井付け 〉

〈 正面付け 〉

取付け面
58
15
44
6
39
13
5
25
54
取付けネジ※

※取付けネジは下地位置の状況に応じて図のどちらかの位置に取付けてください。
※幅が2010mmを超える製品を正面付けする場合は、ブラケットの上のネジ穴で固定してください。

■ ブラケットの取付け位置

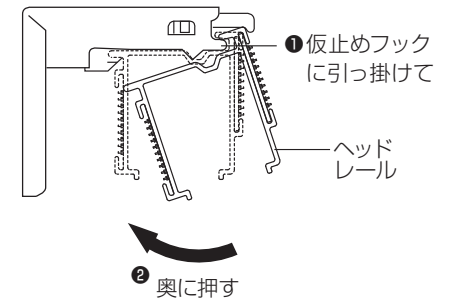
● 両側のブラケットは、ヘッドレール両端から約10cmの位置に取付けネジ（ナベφ3.5×20）で取付けてください。

※ ブラケットの使用数は下表の通りです。使用数は必ずお守りください。

※ 製品幅1210mm～の場合は、ブラケットが3個以上必要となりますので、それぞれ等間隔になるように取付けてください。

■ ヘッドレール（本体）の取付け/取外し方法

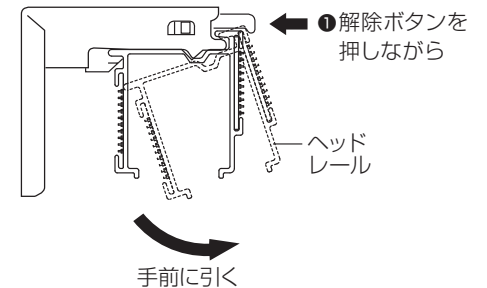
〈取付け方法〉

❶ ヘッドレールをブラケットの仮止めフックに引っ掛けてください。

❷ 本体を奥に「カチッ」と押し込んでください。

〈取外し方法〉

❶ ブラケットの解除ボタンを押しヘッドレールを手前に引いてください。

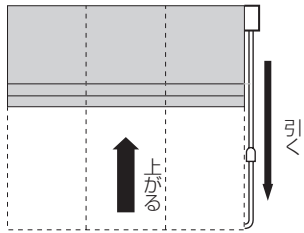
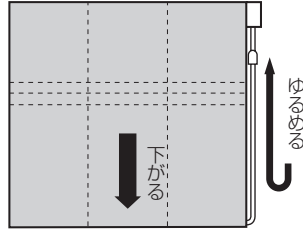
❷ 本体を仮止めフックから外してください。

注意

❗ 本体取付け後、確実に本体がブラケットに固定されているか確認してください。

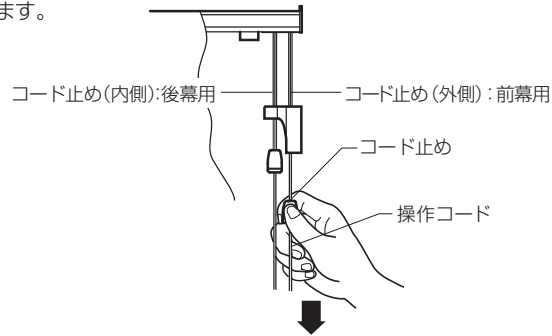
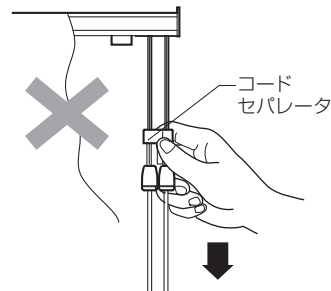
操作方法

注意

- 幕体の昇降操作は必ず操作コードで行ってください。
- 幕体を降ろすときは必ず操作コードに手を添えて操作してください。
途中で手を離すと幕体が勢いよく降りることがあり危険です。

■ 幕体の上げ方
操作コードを引き、止めたい
位置でゆるめると止まります。

■ 幕体の降ろし方
操作コードを5cmほど引き、
次にゆるめると下がります。

● ストッパーのストップと解除は交互に作動します。

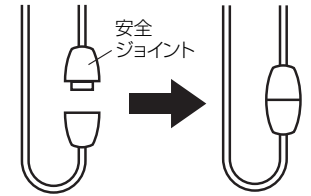
※ 操作を行う際は、コード止め
または操作コードを持って真
下に引くようにしてください。

※ イラストは片側操作の場合です。

※ 片側操作の場合、コードセパ
レータを持って操作しないで
ください。正常な操作ができ
ません。

■安全ジョイントについて

警告

お子様を操作コードで遊ばせないでください。首や体に巻き付く等して思わぬ事故を招く恐れがあります。

● 安全ジョイントは操作コードがお子様の首や体に巻き付いた場合、危険を回避する為に、操作コードを分離させるための部品です。

● 安全ジョイントに力がかかったり、安全ジョイントの近くを持って操作すると、安全ジョイントが外れます。安全ジョイントが外れた場合は、そのまま使用せずに、再びはめ直してからご使用ください。

お手入れ方法

幕体のお手入れについて

●幕体裏面の取扱い方法を記載したラベルを確認してください。
●洗濯絵表示ラベルが付いている場合は、ラベルの記載内容にしたがってください。
●お手入れ方法ラベルが付いている場合は、ラベルの記載内容にしたがってください。

※ヘッドレールから幕体を取外した後、コード類はコードガイドから抜けないように必ず束ねて結んでおいてください。

■幕体の取外し方法

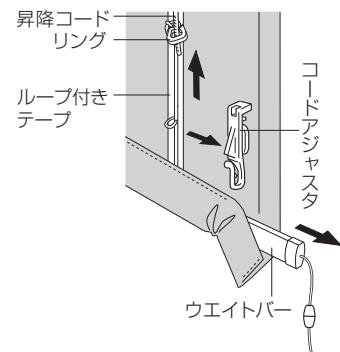
プレーン+プレーン、シャープ+プレーン（後幕）、フロントバー+プレーン（後幕）の場合

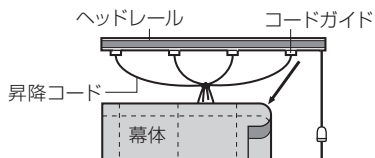
※ 昇降コードをコードアジャスタから取外す前に、あらかじめ昇降コードへ（コードアジャスタ上端部の位置に）ペンで印をつけておくと、後で昇降コードを巻く位置の目安となり、取付けしやすくなります。その際、幕体をペンで汚さないようにご注意ください。

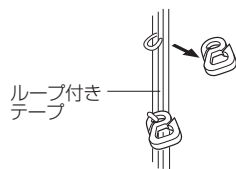
❶幕体を降ろしてください。

❷コードアジャスタから昇降コードをほどいて、コードアジャスタをループ付きテープから取外してください。

※ コードアジャスタは無くさないように保管しておいてください。

❸ウエイトバーを幕体より取外してください。

❹ヘッドレールから幕体を取外してください。

❺コード類はコードガイドから抜けないように必ず束ねて結んでおいてください。

❻ループ付きテープからリングを取外してください。

※リングは無くさないように保管しておいてください。

シャープ+シャープ、シャープ+プレーン（前幕）の場合

※ 以下の位置にあらかじめペンで印をつけておくと、後で幕体の取付けがしやすくなります。その際、幕体をペンで汚さないようにご注意ください。

- 昇降コード…コードアジャスタ上端部の位置。
- シェイパーテープ…コードアジャスタを取付けている位置や、昇降コードを通している位置。

❶幕体を降ろしてください。

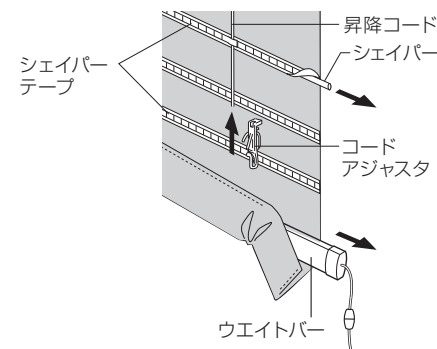
❷コードアジャスタから昇降コードをほどいて、コードアジャスタをシェイパーテープから取外してください。

※ コードアジャスタは無くさないように保管しておいてください。

❸ウエイトバーシェイパーを取外してください。

※シェイパーは無くさないように保管しておいてください。

❹ヘッドレールから幕体を取外してください。

❺コード類はコードガイドから抜けないように必ず束ねて結んでおいてください。（P.10幕体の取外し方法プレーン+プレーン、シャープ+プレーン（後幕）、フロントバー+プレーン（後幕）の❺参照）

フロントバー+プレーン（前幕）の場合

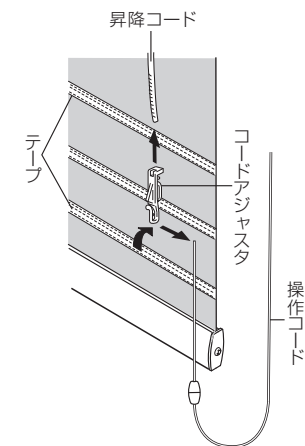
※ 以下の位置にあらかじめペンで印をつけておくと、後で幕体の取付けがしやすくなります。その際、幕体をペンで汚さないようにご注意ください。

- 昇降コード…コードアジャスタ上端部の位置。
- テープ…コードアジャスタを取付けている位置や、昇降コードを通している位置。

❶幕体を降ろしてください。

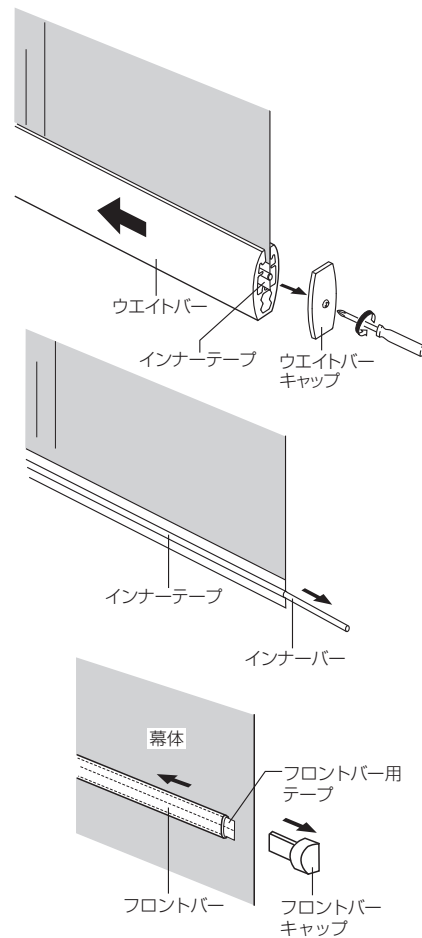
❷コードアジャスタから昇降コード、操作コードをほどいて、コードアジャスタをテープから取外してください。昇降コードをテープから引き抜いてください。

※ コードアジャスタは、無くさないように保管しておいてください。

❸ヘッドレールから幕体を取外してください。

❹ネジをゆるめて、ウエイトバーキャップを取外し、ウエイトバーをスライドさせて取外してください。

ウエイトバー
インナーテープ
ウエイトバーキャップ

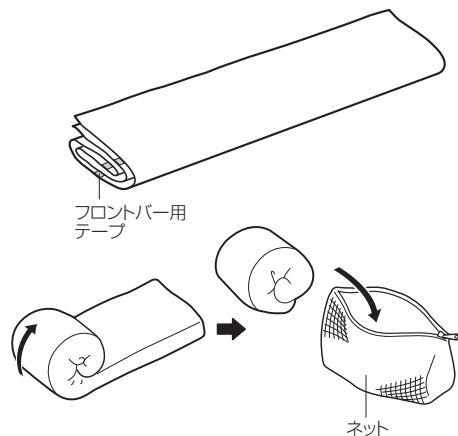
❺インナーテープの中のインナーバーを引き抜いてください。

❻フロントバーキャップを取外し、フロントバーを幕体から引き抜いてください。

■洗う前のたたみ方

※フロントバースタイル幕体を洗う場合は、以下の手順に従って折りたたんでください。

❶フロントバー用テープの向きに沿って、幕体を折りたたんでください。

※折りたたむ際は、フロントバー用テープを縫い付けている面を合わせるようにしてください。

❷折りたたんだ幕体を端から丸め、ネットに入れてください。

■幕体の取付け方法

プレーン+プレーン、シャープ+プレーン(後幕)、フロントバー+プレーン(後幕)の場合

❶ヘッドレールに幕体を取付けてください。

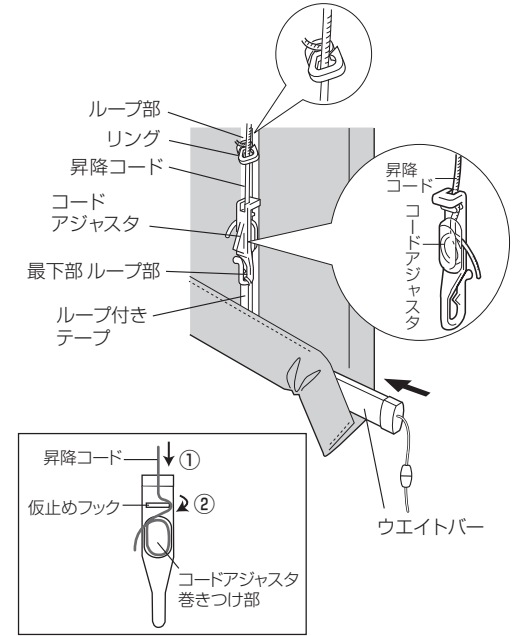
❷リングの小さい方の穴をループ付きテープのループ部に取付けてください。

❸最下部のループ部へは、コードアジャスタを取付けてください。

❹ウエイトバーを幕体に差し込んでください。

❺昇降コードをリングの大きい方の穴に通してください。幕体上部から順に通します。万が一通し忘れた場合には、リングの横の切込みから昇降コードを入れることもできます。

❻コードアジャスタの上部から昇降コードを通し(①)、固定位置をコードアジャスタ上部に合わせてください。コードは、仮止めフックに引っ掛けて反対側の方向に振ると(②)仮止めができます。余った昇降コードをコードアジャスタに巻きつけてください。

※昇降コードの固定位置はもともとコードを巻きつけた所(あるいはペンで印をつけた所)を目安にしてください。

シャープ+シャープ、シャープ+プレーン(前幕)の場合

❶ヘッドレールに幕体を取付けてください。

❷コードアジャスタを最下部のシェイパーテープに取付けてください。

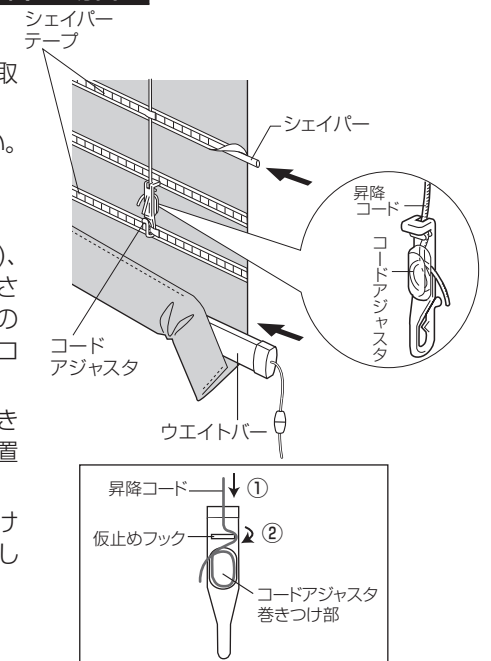
❸シェイパーをシェイパーテープに差し込んでください。

❹ウエイトバーを幕体に差し込んでください。

❺昇降コードをシェイパーテープに通してください。

❻コードアジャスタの上部から昇降コードを通し(①)、固定位置をコードアジャスタ上部に合わせてください。コードは、仮止めフックに引っ掛けて反対側の方向に振ると(②)仮止めができます。余った昇降コードをコードアジャスタに巻きつけてください。

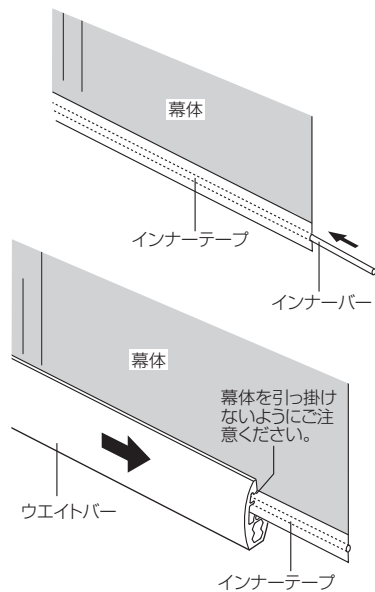
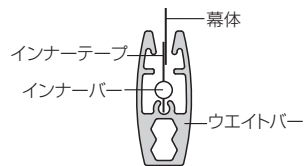
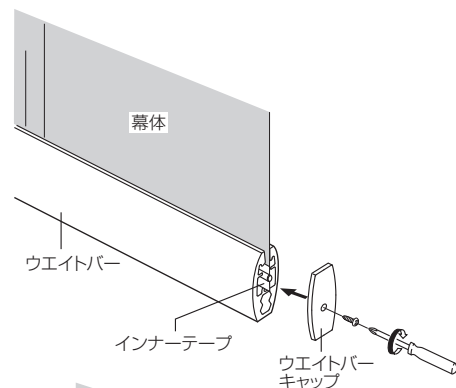
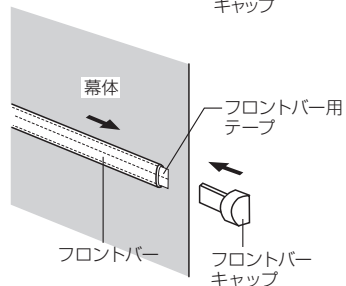
※コードアジャスタの取付けや、昇降コードを通すときは、あらかじめシェイパーテープに付けた印の位置でおこなうようにしてください。

※昇降コードの固定位置はもともとコードを巻きつけた所(あるいはペンで印をつけた所)を目安にしてください。

フロントバー+プレーン（前幕）の場合

❶ 幕体にウエイトバーを取付けてください。

①インナーテープにインナーバーを差し込んでください。

②インナーバーを差し込んだインナーテープに、ウエイトバーを横からゆっくりとスライドさせてください。

注意

インナーバーは図の位置になるようにしてください。差し込み終えたら、幕体にウエイトバーがしっかり固定されているか必ずご確認ください。

③ウエイトバー両端部からインナーテープがはみ出さない位置までウエイトバーをスライドさせてから、ウエイトバーキャップを取付けてください。

❷ 幕体のフロントバー用テープにフロントバーを通し、両端にフロントバーキャップを取付けてください。

❸ ヘッドレールに幕体を取付けてください。

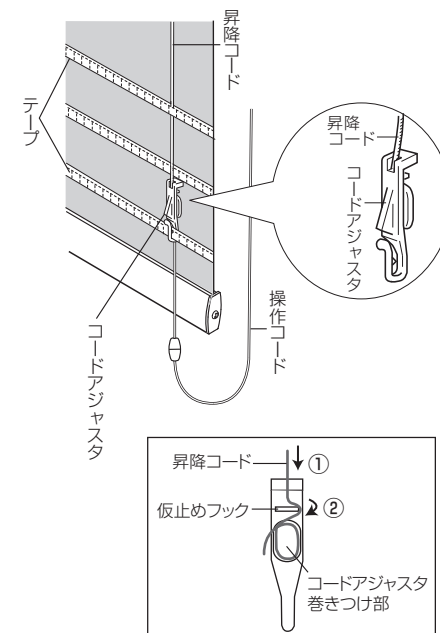
❹ コードアジャスタを最下部のテープに取付けてください。

❺ 昇降コードをテープに通しください。

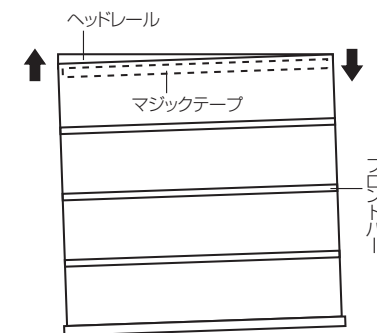
❻ コードアジャスタの上部から昇降コードを通し(①)、固定位置をコードアジャスタ上部に合わせてください。コードは、仮止めフックに引っ掛けて反対側の方向に振ると(②)仮止めができます。余った昇降コードをコードアジャスタに巻きつけてください。

※コードアジャスタの取付けや、昇降コードを通すときは、あらかじめシェイパーテープに付けた印の位置でおこなうようにしてください。

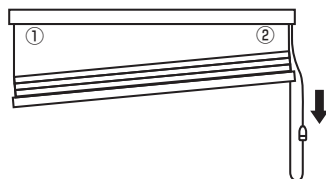
※昇降コードの固定位置はもともとコードを巻きつけた所（あるいはペンで印をつけた所）を目安にしてください。

❼ 操作コードをコードアジャスタに結びつけてください。

※ フロントバースタイルは、フロントバーを美しく整えるため以下の調整を行ってください。

● 幕体を取付けた際、フロントバーがななめに傾いている場合、幕体上部のマジックテープを貼り付け直して調整してください。

下がっている側のマジックテープを少し上方向に貼り付け直すか、上がっている側のマジックテープを少し下方向に貼り付け直してください。

幕体の左右高さの調整方法

❶ 幕体取付け後、幕体を上げてみて、左右の高さが合っているかどうか確認してください。

❷ 合っていない場合は幕体を降ろした状態で、各昇降コードの張り具合が、同じになるよう次の手順で調整を行ってください。

① 下がっている側のコードアジャスタに巻いている昇降コードを短めに巻き直してください。

② 上がっている側のコードアジャスタに巻いている昇降コードを、長めに巻き直してください。

マーキングについてのおことわり

ローマンシェードの一部に縫製加工上のマーキングチャコ（紫色）が残っている場合があります。これは数日程で消えますが、気になる場合は水を付けた布でふくと早く消えます。

● マーキングが残っている場合の消し方

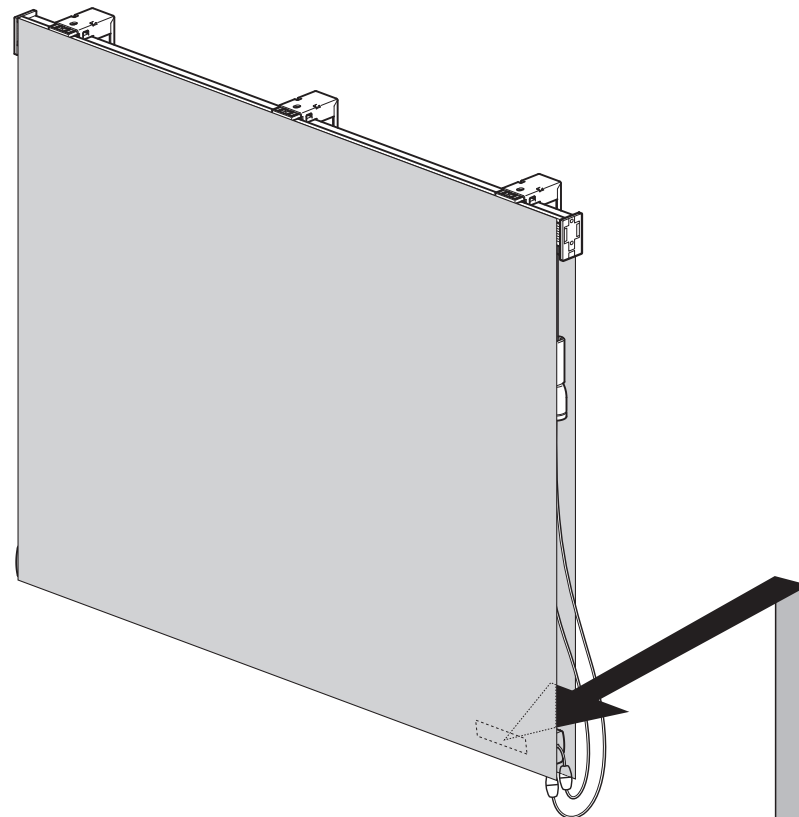
❶ 水をつけた布を軽くしぼります。

❷ マーキングの残っている箇所を布で軽くたたくようにして濡らします。

※ 綿等、縮みやすい素材は濡らしすぎないように注意してください。

❸ マーキングは水とともに蒸発します。

メンテナンスシール

● お買い上げの製品には、操作側前幕ウエイトバー背面に製品情報を記載したメンテナンスシールを貼付しております。製品に関するお問い合わせや修理等の際にこのメンテナンスシールをご確認ください。

● メンテナンスシールにQRコードが印刷されている場合は、QRコード対応の携帯電話で撮影すると携帯サイトにアクセスでき、製品情報を入手することができます。

※ シール設置場所・QRコードへの汚れ・破損などにより、読み取れない場合もございますのでご注意ください。

梱包材の処理方法

- 梱包材は可燃ゴミと不燃ゴミに分別して処分してください。
- 各自治体により分別基準が異なりますので、それぞれの自治体の規定に従って処理してください。